

【60解読文】外米消費状況照会二付回答

(大正三年：一九一四)〈A〉

(表紙) 大正三年 永年保存 (朱印)

雑事

農務 知事官房

(欄外) 課長 雑事・永年保存

月 日

第三〇七八号 浄書印 校合印 発送 1月9日印

大正三年一月六日 内務部 農務課 高橋技手印

内務部長印 農務課長印 課僚印

知事印 (大芝)

年月日 知事

農務局長宛

外米消費状況二関スル件、客年十一月

〈外米消費状況に関する件、客年(かくねん)十一月〉

十三日付、農第九三七七号御照会二対

〈十三日付け、農第九三七七号御照会に対〉

スル回答

〈する回答〉

外米消費状況二関スル調査、別紙ノ

〈外米消費状況に関する調査、別紙の〉

通二有レ之候条、右御了知相成度

〈通りにこれ有り候条、右御了知(りようち)相成り度〉

記

一、管内ニ於ケル最近一ケ年間、外米消費ノ見

〈一、管内に於ける最近一か年間、外米消費の見〉

込数量 三万三百四十七石

〈込み数量 三万三百四十七石〉

三十七、八年ノ凶作当時ニ在リテハ、外米ノ使用

〈三十七、八年の凶作当時ニ在りては、外米の使用〉

頗ル多ク、爾來米価ノ騰貴、或ハ水害等

〈頗(すこぶ)る多く、爾來(じらい)米価の騰貴(とうき)、或(ある)いは水害等〉

ニ依リ、部分的ニ之カ増加ヲ示セシカ、大体ニ於

〈に依(よ)り、部分的にこれが増加を示せしが、大体に於い

テ漸次減少シテ、如上ノ額トナレリ

〈て漸次(ぜんじ)減少して、如上(じょじょう)の額となれり〉

二、管内ニ於ケル最近外米消費ノ状況

〈二、管内に於ける最近外米消費の状況〉

都会ト農村トニ依リ、消費ノ状況ニ差異ヲ認

〈都会と農村とに依り、消費の状況に差異を認

メス、一般ニ職工・工女ヲ使用スル製糸、賃織

〈めず、一般に職工・工女を使用する製糸、賃織〉

業者、労働者又ハ下層ノ農民ニ於テ消

〈業者、労働者又は下層の農民に於いて消

費シ、内地米・挽割麦等ニ混合シテ飯米

〈費し、内地米・挽割(ひきわり)麦等に混合して飯米〉

トナシ、時ニ粥・雑炊トシテ用ユ、配合ノ割合

〈となし、時に粥(かゆ)・雑炊(ぞうすい)として用ゆ、配合の割合〉

ハ内地米五分、外米五分、或ハ内地米・外米・

〈は内地米五分、外米五分、或いは内地米・外米・

挽割麦ヲ平等ニ使用スルモノ多シ

〈挽割麦を平等に使用するもの多し〉

三、管内ニ於ケル外米消費状況ノ変遷及將

〈三、管内に於ける外米消費状況の変遷及び將

来ノ見込

〈来の見込み〉

三十七、八年ノ凶作ト戦時馬糧徴発ノ結果、

〈三十七、八年の凶作と戦時馬糧（ばりよう）徴発の結果〉

大麦ニ著シキ缺乏ヲ来シタルトニ依リ、俄ニ外

〈大麦に著（いちじる）しき缺乏（けつぼう）を来たしたるとに依り、俄（にわか）に外〉

米ノ消費ヲ来シ、中流以上ノ農民モ一般ニ

〈米の消費を来たし、中流以上の農民も一般に〉

之ヲ使用シ、爾後凶作ニ際会シ、多少ノ増加

〈これを使用し、爾後（じご）凶作に際会（さいかい）し、多少の増加〉

ヲ見タルモ、概シテ其ノ消費量減少シ、尚外米

〈を見たるも、概して其（そ）の消費量減少し、尚（なお）外米〉

ハ価格低廉ナルモ、調味良シカラサルヨリ一般ノ嗜

〈は価格低廉（ていれん）なるも、風味良ろしからざるより一般の嗜〉

好ニ適セス、尚近時台湾米ノ需用漸次増加シ、

〈好（しこう）に適せず、尚近時台湾米の需用漸次増加し、〉

一般ニ生活状態向上ノ結果、今後ニ於テ米

〈一般に生活状態向上の結果、今後に於いて米〉

麦価ノ騰貴又ハ凶作ニ際会セサル限りハ、之

〈麦価の騰貴又は凶作に際会せざる限りは、これ〉

カ需用ノ増加スルカ如キコトナカルヘク、漸次減少

〈が需用の増加するが如きことなかるべく、漸次減少〉

ノ傾向ヲ認ム

〈の傾向を認む〉